Kyushu Dental Society

九州歯会誌　40(4)：876～880，1986.

会　　報

九州歯科学会月例会報告

6　月　例　会

昭和61年6月18日（水）午後2時より

（九州歯科大学附属図書館視聴覚教室）

演　　題

1. **乳歯列期下顎骨の放射線障害に関する実験的研究**
（九歯大・小児歯科）瀬　尾　令　士
2. **中部九州人男性の大孔周囲の頭蓋底の局所解剖学的研究**
（産業医大・1解剖）中　島　民　治
3. **上顎骨側方拡大装置 Quad helix による正中口蓋縫合の拡大に関する病理組織学的研究**
（福歯大・矯正）中　川　幹　夫
4. **2官能性メタクリレートの反応性とポリマーの構造について**
（福歯大・理工）水　上　義　文

7　月　例　会

昭和61年7月23日（水）午後2時より

（九州歯科大学附属図書館視聴覚教室）

演　　題

1. **唾液の流出障害をおこさせたイヌ顎下腺の変化に関する組織化学的研究**
（福歯大・口病）橋　本　健　治
2. **良好な咬合保持者の顎・顔面形態に関する研究**
（九歯大・矯正）南　　益　祐
3. **免疫マウスにおけるT細胞のサブクラスの分布に関する実験的研究**
（九歯大・口細）川　永　克　己
4. **ハムスター頬嚢の発癌過程における基底板の変化に関する電子顕微鏡的研究**
（松本歯大・口外第1）鹿　毛　俊　孝
5. **根未完成歯不完全脱臼後の歯髄および歯周組織の変化に関する実験的研究**
（九歯大・口外第1）山　近　紳一郎

第46回九州歯科学会総会報告

第46回九州歯科学会総会は昭和61年5月24日（土）・25日（日）の両日，本学記念講堂で開催された．

本学会の演題数は特別講演3，一般口演25，ポスターセッション37であった．一般口演，ポスターセッションともに他大学や開業医の研究発表もあって活発な質疑応答が行われた．

特別講演は，福岡歯科大学口腔外科学第2講座古本克磨教授の「下顎前突症に対する外科的矯正治療」および九州歯科大学小児歯科学講座木村光孝教授の「小児歯科領域における歯科材料の生体適合性」であった．また同窓会推薦として本学の卒業生（大16期）で北九州市小倉北区で開業されている下川公一先生による「歯槽骨の再生をめざして」の特別講演が行われた．いずれも1時間余にわたる有意義な講演であった．

総会は第1日目の13時40分より山田博会長の挨拶につづいて庶務，編集，会計の各報告が行われた．その内容は次のとおりである．

庶　務　報　告

庶務理事　梶　山　　稔

1. 会員状況について（昭和60年12月31日現在）
正 会 員　1,059名（昨年度1,027名）
名誉会員　19名
賛助会員　25社
2. 総会例会，講演会について
イ．総会1回（第45回：昭和60年5月25・26日）
一般口演　24題
ポスターセッション　35題
特別講演　3題
◦福歯大・口腔病理学：北村勝也教授
◦九歯大・歯科麻酔学：西　正勝教授
◦飯塚市　開業：　豊永美津糸先生
ロ．月例会8回（昭和60年5月を除く）
学位請求講演　36題
一般講演　なし
ハ．その他の講演
◦ドクター木下先生・ドクターアイバン先生
（昭和60年6月12日）
◦トロント大学歯学部：ヨハンヒヤシ教授
（昭和60年10月18日）
※九州歯科学会・口腔科学教室共催

NII-Electronic Library Service